



校訓「強く 正しく 明るく」 教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」
目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」

3年生消防署で社会科見学

昨年 12 月、社会科の学んだことを山鹿市消防本部山鹿消防署で実際に確認した 3 年生。通信指令室や消防士の方の休憩室、消防車などを見学させていただき、消防士の方から直接お話をうかがい、市民の命を守る仕事への使命感や責任感を持って仕事に向かわれていることを実感しました。仕事は収入を得る手段ですが、そればかりでなく、働くことをとおして個人の能力や個性を發揮し、社会的役割を果たし社会の存続や発展に貢献することができることを感じ取ってくれたと思います。



ロアツソ熊本・熊本トヨタ寄贈のサッカーボールでなかよく遊んでいます

平成 28 年からロアツソ熊本が熊本トヨタと共同で取り組む「ワンゴールアシストファイブ」という地域貢献事業の一環で、ロゴ入りの素敵なボール 5 個が八幡っ子に届きました。体育委員会が代表して受け取り、昼休みになかよく遊んでいます。



近江商人の経営哲学「三方よし」の考え方

近江商人の経営哲学のひとつとして広く知られる「三方（さんぼう、さんぼう）よし」の考え方。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」を指し、「商売において売り手と買い手が満足するのはもちろんのこと、社会に貢献できてこそよい商売といえる」という考え方をいうそうです。自らの利益追求のみをよしとせず、社会の幸福を希求する「三方よし」の精神は、現代の CSR（企業の社会的責任）につながるものとして、多くの企業の経営理念にも活かされています。最近では「Three-Way Harmony」と訳され海外でも紹介されているようです。

学校や地域社会に置き換えると、「自分よし」「相手よし」「みんなよし」というところでしょうか。自分が満足して喜び、相手が満足して喜び、みんなが満足して喜び。難しいですがそういった視点を持つことは大事にしたいと思います。

選書の幅を広げる取組～図書委員会～

図書委員会では、選書の幅を広げる取組の一環として、図書委員会セレクトお楽しみ袋の取組を今年もスタートしました。右写真の袋帯には「冒険が好きあなたへ」と書いてあります。昨年はあつという間に準備した袋



【実際のお楽しみ袋】
全てが借りられていました。今年は選ぶときにもっとワクワクしてもらおうと、お楽しみ袋もリニューアル。まるで、おしゃれなお店の商品のような出来映えです。この機会に、今まで手に取らなかった新ジャンルの本にも親しんでほしいと思います。

給食週間に交流給食



1 月 24 日から 1 月 30 日までは全国学校給食週間です。我が国における学校給食は、明治 22 年に始まり各地に広がりました。世界に目を向けると、給食のある国ない国、国の事情によって様々です。中でも、日本の学校給食は次のような理由で、諸外国から高評価を得ています。

- ①必要栄養価が計算され衛生的で質が高い
- ②安心安全な給食を安価で提供
- ③給食を教材として食育を実施
- ④子ども自身が配膳、片付けを行うことで食事のマナーや社会性を育成

本校では、児童の自立を目指して「おにぎりマイスター」の取組も行っています。給食週間には、調理員の方々と交流給食や世界の食を味わう取組を推進し、食の豊かさや楽しさ、感謝する心などをはぐくんでいます。

【はし使いのタブー（はし和文化研究会 HP より）】

